

## 令和4年度【数学】授業改善推進プラン

文京区立第八中学校

	課題の分析	授業改善の視点	成果と課題
1 年 生	<p>授業に対する姿勢はほとんどの生徒が落ち着いていて、素直に聞き理解に努める姿勢がある。苦手意識を示す生徒も一定数いるが、周囲から良い影響を受けている。提出物は概ね良好である。</p> <p>一方、問題解決に向かう姿勢として結果を望むあまり、過程をたどる習慣に欠ける傾向がある。</p> <p>また、ノートの記事について、要点や疑問点を残すことが習慣になっていない生徒は比較的多い。</p>	<p>習熟度別少人数授業は、互いに良い影響を与えるよう工夫して編成し、落ち着いた環境を維持する。</p> <p>問題演習においては、結果を急がせずに、思考や計算の要点を常に意識させる。そこから問題解決の過程を丁寧にたどり、問題点を自ら探し出す要領を体験させる。</p> <p>また取り組んでいる対象の要点を意識することで、能率良くノートをとる力を伸ばす。</p>	年度末に記入
2 年 生	<p>集中して学習する習慣が身につけていない生徒、丁寧に文字や式が書けない生徒、授業の準備に時間がかかる生徒が数名いる。</p> <p>一方、数学的思考力や数学的技能が高い生徒もいるので、どの生徒の学力も伸ばす授業の工夫が課題である。</p>	<p>習熟度別少人数授業を実施し、個に応じた指導をする。標準コースでは既習事項も含めて反復練習にたくさん取り組ませ、達成感を味わえるようにする。発展コースでは教科書の内容に加えて、思考力を鍛える問題を数多く取り扱う。</p>	年度末に記入
3 年 生	<p>昨年度よりも授業へ意欲的に取り組んでいる生徒が多いが、学習内容の定着度は個人差が大きい。</p>	<p>習熟度別少人数授業を実施し、個に応じた指導をする。標準コースでは既習事項も含めて反復練習にたくさん取り組ませ、知識・技能の向上を図る。また、個別の課題も用意し、効果的に学力の向上を図る。発展的なコースでは入試問題などの思考力を鍛える問題を数多く取り扱う。答えを導くまでの過程や考え方を話し合い、発表させ表現力の向上も図る。</p>	年度末に記入